

5月2日（金）発行責任 園長 池添鉄平

5月1日現在の在籍児童数 141 名



日に日に濃さを増す緑と爽やかな青空を背景に、鯉のぼりが気持ちよさそうに泳ぐ5月。気持ちの良い季節ですね。新しい環境がスタートしてあっという間に1ヶ月が過ぎました。新入園の子どもたちも保護者の皆さんも少しずつ慣れてこられたようで笑顔が見られるようになって来ました。

そして今月の園だよりは、下記の同窓会の開催を記念して主任の薬子先生とコラボのちょっぴりデラックス版にしました。お付き合いください。

5月25日（日）に「たかつかさ保育園大同窓会 ～「おかえり」「ただいま」ニコニコ笑顔がつながる会～」が開催されます。在園の皆さんには申し訳ありませんが、卒園児と卒園保護者・職員対象で大同窓会をニコニコいっぱいの日「たかつかさ保育園とつながる会」主催で行われます。当日の様子はまた園だよりでもお伝えいたしますね。「たかつかさ保育園とつながる会」は2015年に発足

をして以前は毎年のようにイベントを開催していたのですがコロナでストップを余儀なくされ6年ぶりのイベントです。在園の皆さんも卒園後はつながる会に参加していただけると嬉しいです。創立45年を経て卒園児は1167人になりました。一人ひとりの子ども、お家の方々、職員、地域、業者…たくさんの皆さんが、「子ども」と「たかつかさ保育園」を大事にしてそれぞれの時代をつくってくださったと感謝して背筋が伸びる思いです。そして裏面の薬子先生の文章を読んで改めて保育園って面白いと思いました。保育園でみんなで育っていく中で、生まれた様々なつながりとストーリーはそれぞれの皆さんの中で貴重な記憶としてあると思います。在園の皆さんもこれからたくさん素敵な思い出をつくっていただきたいです。当日は懐かしい皆さんと顔を合わせて思い出と今を喜び合いたいです。卒園関係者の皆さんはぜひお越しください。

4月20日（日）には保護者会主催で「新歓レク」が行われました。新入園のご家庭を歓迎するこの会では「タッカタ♪ツカサーズ」の演奏や「ママフラワーズ」のフラダンスで大歓迎をして、グループでの交流会などが和やかに行われました



4月25日（金）にはこいのぼり会を行いました。各クラスで制作したそれぞれのこいのぼりをみんなの前で披露しました。そう組はクラスでひとつの大きなこいのぼりをつくって、当日はみんなの歌声と共に掲げました。新入職員による出し物もあり大いに盛り上がりしました。そう組の子どもたちは28日（月）にはバケツ稲の土づくり作業をどろんこになって行いました。5月からはお米づくり、蚕飼育などが始まりまた賑やかになります。

4月の避難訓練

4月17日(木) 9:32 給食室から出火想定で行いました。新しい保育室からの避難で急ぎすぎず避難できました。最終の確認もしながら避難できました。子どもたちには「ベルが鳴ったら、まず先生の顔を見ること」を確認しました。

砂場の砂の補充をしました(4/19) →



そう組 4/4 花見



4/16 遠足 植物園

5月と今後の予定

10日(土) AM ピカピカデー PM 職員会議
ご家庭での保育が可能な場合はご協力をお願いします。

21日(水) お弁当日

22日(木) 避難訓練

ピカピカデー 5月10日(土) 10:00~12:00

砂場枠や土留めの交換や大型滑り台のワックスかけ、ウッドデッキ作りなど園庭の整備作業を中心に行います。給食には鶏と油揚げのうどんと冷たい飲み物をご用意しております。ぜひご参加お願いいたします。

園庭の乗り物を購入しました

昨年度のバザー収益金を活用させていただき写真の乗り物(ショベルカー3台・2輪スクーター2台・3輪スクーター2台)を購入しました。新車でたっぷりと遊んでもらいたいです。写真以外にも荷台付きの三輪車1台も購入しましたのでもうすぐ届く予定です。



工事のお知らせ

本格的な暑さの前に空調機の更新や洗浄を行います。(下記以外の空調機は昨年度に洗浄工事をしました。)

- ・大やぎ組・黒うさぎ組・事務所の空調機入れ替え工事(5/10・11・17)
- ・ひよこ組・小やぎ組・給食室・白うさぎ組 空調機洗浄工事(6/1)

給食食材放射能測定

2025年4月の測定実績: 市民測定室 三条御前測定依頼所

4月に測定した食品は次の通りです。いずれも放射性セシウムの検出はありませんでした。

測定日	測定食品	産地・メーカー	測定下限値 (Bq/Kg)		測定結果
			Cs-137	Cs-134	
4/6	7分つき米	滋賀県	1.01	1.01	不検出
4/5	りんごジュース	長野県	0.91	0.92	不検出

＜最近の私の嬉しかったニュース＞

薬子三恵子（主任保育士）

5月になりました。新入園の子ども達、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、新しいクラス担任になった先生たち、この新しい環境によりやく馴染み始めた頃ではないでしょうか。1ヵ月、お疲れさまでした。みんな少しずつ笑顔が増え、朝のバイバイでは泣かなくなった子どもたちもいます。大好きなお父さんやお母さんと離れて、たくさんの集団の中で生活しているから寂しくもなりますよね。とは言っても、子どもは遊ぶことが大好き。園庭やホール、いろんな空間で自分の好きなことを見つけて遊んでいます。自分の好きなことを見つける力ってすごいなと保育に入りながら、日々感じているところです。

話は変わりますが、この3月に心がほっとした嬉しい出来事がありました。

3月に卒園したTさんのお父さんは、私がたかつかさ保育園の保育士として初めて担任したクラスの子ともでした。セミマークのTKさん（以下、Tさんのお父さんをTKさんと明記します）。笑顔いっぱい、元気いっぱい、上手に甘えられる子でした。TKさんを担任したのはその1年だけではありませんが、卒園した後も、バザーや記念行事などで再会し「大きくなったね」と会う度に成長を喜んでいました。そして、TKさんが中学2年生の頃です。今でいう『チャレンジ体験』（この学年がお試し企画として初めて職業体験をスタートした年でした）でたかつかさ保育園へ来てくれました。小さい頃の面影が残った笑顔の素敵な少年になっていました。チャレンジでは私が担任していたクラスに入ってくれ、園庭で子どもたちと遊んだり、お昼寝でトントンしてくれたり、優しく声を掛けてくれました。そんなTKさんの姿を見て、「保育園の先生になってよ」や「たかつかさ保育園で一緒に仕事しよう」と冗談まじりで話していました。そんなTKさんが時を経て、保育士になり（残念ながら、たかつかさ保育園ではありませんが）、父として5年前にたかつかさ保育園へ戻ってきてくれました。保護者としてまた、同じ仕事をする仲間として時を共にしてきました。

そして、この3月 たかつかさ保育園を卒園していきました。3月末日、TKさんが仕事帰りに事務所へ寄ってくれました。わざわざ、挨拶に来てくれるなんてと思いながら、涙をこらえ……。その場でTKさんが、「チャレンジ体験に来て先生のクラスで保育をして保育士になりたいなと思って、今も保育士してます」と言ってくれました。私にとって、とてもとても嬉しい言葉でした。35年前に出会い、あんなに小さかった子が保育士となり、父となって、たかつかさ保育園に帰って来てくれたこと。同じ時間を共有できたこと。私にとっては宝物であり、幸せが1つ増えたような言葉でした。

たかつかさ保育園に勤めて35年が過ぎ、様々な人とのつながりができました。『たかつかさ保育園』という居場所のできたつながりを大切に、これからも保育人生楽しんでいきたいと思います。

・たかつかさ保育園 2025 年、春の「見て！見て！」写真集

園庭にいと子どもたちが「見て！見て！」と大発見！を嬉しそうに教えてくれます。それぞれの出会いに感動があると思うと愛おしくなります。ちいさな手で誇らしげに持ってみたり、つぶしてしまわないように柔らかく持ってみたり、虫を持つ手からは少し緊張持が伝わってきたり、出会った時の瞬間やその後の会話や遊びを想像するとこちらも嬉しくなります。まだ言葉が出ない子でも「指差し」という言葉で感動を伝えてくれてそれに共感できるのも嬉しい時間です。

